

上尾市立原市南小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

- よく励む子
- 心さわやかな子
- 粘り強い子

学校課題研究主題

主体的にねばり強く何事にも取り組む児童生徒の育成
～つながりを大切にした小中一貫教育～

学力・学習状況調査の結果

R7 全国学力・学習状況調査	R7 埼玉県学力・学習状況調査	R6 上尾市立小・中学校学力調査
○国語の平均正答率は県、全国平均よりやや上回っている。また、書くこと・読むことは全国・県平均よりも上回っている。 ○算数の平均正答率は県、全国平均よりやや上回っている。特に「変化と関係」の領域が上回っている。 ○理科の平均正答率は県、全国平均より上回っている。特に「エネルギー」の領域が上回っている。 ●国語は、漢字の活用の仕方が課題として考えられる。 ●算数は、「図形の領域」が県よりも正答率が低く、図形の性質や式を説明することが課題として考えられる。 ●理科は、「生命」に関する知識が課題として考えられる。	○国語・算数ともに学力レベルは、埼玉県・上尾市と同程度である。（４年） ○国語・算数ともに学力レベルは埼玉県・上尾市と同程度である。（５年） ○国語・算数ともに学力レベルは埼玉県・上尾市と同程度である。算数においては県よりも１レベル高かった（６年） ●国語においては、４年～６年までのどの学年も自分の考えを書く内容になると無解答率が上がることが課題として考えられる。 ●算数においては、どの学年も既習事項と関連付けて考えることが課題として考えられる。	【観点別正答率】 ○国語の２年、３年、４年、５年、６年は目標値以上、または同程度である。 ○算数の２年、５年は目標値以上である。 ●国語の６年の知識・技能と全体的に主体的に学習に取り組む態度に課題が見られる。 ●算数の知識・技能は３年、４年、６年が目標値よりも低く、思考・判断・表現では、３年、６年は目標値よりも低いことが課題である。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①物事の中心を捉え、新たな問題場面に使える知識・技能を習得する力 ②よりよく問題を解決するための方法・知識の獲得	③既習事項や生活経験などの先行経験をもとに、考えの根拠を明らかにし、筋道立てて説明・記述する力	④自分の心を律しながら、意欲的に問題解決に向け、粘り強く取り組む力

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
○相違点や類似点に着目して問題を把握し、課題を焦点化する過程を大切にすることで授業の中心を捉えられるようにする。 ○内容のまとめに加えて学習方法の振り返りでは、何を学び、次はどうしたいか自分事として考えさせ、身に付けたことが実践につながるようにする。	○各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けながら考えたり、説明したりする過程を重視した学習を行う。 ○児童の実態・発達段階に応じた思考の成長の系統を明確にした指導計画を立て、実行する。	○学習の必要感に基づく問題解決型の授業を展開することで、児童の主体的な活動が継続できるようにする。 ○児童の実態に合わせて、スモールステップで課題を与えることで、達成感やさらに深めたいという主体性を引き出すようにする。

本校の特色ある取組

- 図画工作科の朝鑑賞
- 外国語教育の充実
- 道徳科の充実
- 読書活動の充実
- 「あげお学びのイノベーション」に基づく新しい学習環境づくり

家庭教育との連携

- 学校についての情報発信
- 学校応援団の活用
- 家庭学習への取組